

福祉はね
勇気をもって
声かけて

ー福祉標語入選作品からー

笠間市社協
宍戸支部だより

第121号

平成30年6月10日発行

発行 笠間市社協宍戸支部長 伊東 勝男
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

施策

- 地域住民とともに社協活動への理解を深め、会員の確保に努める。
- 区長会、民生委員・児童委員協議会及びまちづくり宍戸塾との連携を図る。
- 笠間市社協との連携を強化し、他支部との交流を進める。
- 福祉推進員の資質向上に資する研修会及び視察研修を実施する。
- 児童福祉事業の充実を図る。
 - 小学校との連携を密にした「三世代交流事業」への協力
 - 子ども会、スポーツ少年団活動等への援助
 - 地域の教育環境整備及び登下校見守り活動に協力
- 北山公園桜まつりに参加協力する。
- 高齢者代表との懇談会の実施
- 社協宍戸支部会館を会場とする「介護予防の運動・体操教室」に協力する。
- 各専門委員会の事業
 - 青少年健全育成委員会
 - 青少年健全育成及び安心して住める地域を目指す「地区懇談会」の開催
 - 「小学生夏休みものづくりわくわく体験」実施
 - 子どもを見守るプロジェクト研修会の実施
 - 女性部
 - 高齢者を対象とした毎月1回の「配食サービス」を実施
 - 福祉意識高揚を目指した「福祉バザー」の開催
 - 女性部員の特性を生かした「手づくり会」の実施
 - 福祉施設でのボランティア活動の実施
 - 資質向上に資する研修会及び視察研修の実施
 - こぶしの会
 - 「配食サービス」時、高齢者との交流活動の実施
 - 高齢者によるグラウンドゴルフ大会（年2回）に対する援助活動の実施
 - 「ししどサロン」を開催し、より充実した高齢者福祉を推進
 - 高齢者を対象とした市外研修会（自然観察会）の企画・運営
 - 広報委員会
 - 「宍戸支部だより」第121号～123号の発行
 - 研修会及び視察研修への積極的参加
 - 広報関係諸団体との交流促進

支部役員

支部長 伊東 勝男 中町
副支部長 森田 和美 旧陣屋2
同 谷田部敏男 大田町1
・専門委員会委員長(部長)各1名
(2面に掲載)
・支部委員 各行政区1名
(2面に掲載)
会 計 関 令子 橋爪2
同 西村 安美 下町
監 事 瀬谷 雅彦 松山団地3
同 桑島 健 南小泉2
同 海老澤征子 旧陣屋2
顧問 幾浦 忠男 旧陣屋2
同 根本 芳雄 大田町2



▲代議員会(4月21日支部会館で)

方針

笠間市社協宍戸支部は、笠間市で唯一活動の拠点である支部会館を持っています。当支部はその利便性を十分に生かし、青少年健全育成委員会、女性部、こぶしの会、広報委員会などの専門委員会が中核となり、子どもから高齢者まで幅広い事業を推し進めてまいります。

今後はさらに、組織を充実し各関係機関、各種団体との連携を図り、宍戸地区の皆様の協力を得ながら、地域に密着した事業を推進してまいります。

平成30年度

福祉の重要性さらに高まる

ー超高齢化社会に向けてー

4月21日社協関係者ら70人が出席して、宍戸支部代議員会が支部会館で行われた。今年度の役員改選はない。

支部長は挨拶の中で、少子高齢化時代の中、宍戸地区に於いても人口減少と高齢化率(総人口に対する65歳以上の人口の割合)が30.9%であることを話した。

そして、前年の経験を生かしてさらなる質の高い活動を進めると意気込みを示した。

代議員会

平成29年度 決算報告 H29.4.1～H30.3.31

(単位:円)

収入の部				付 記	
項 目	予算額	決算額	増△減		
繰越金	211,496	211,496	0	前年度繰越金	
還元金	880,000	880,500	500	会員会費還元金(会員会費助成額)	
助成金	163,000	163,050	50	福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 88,050 宍戸小PTA助成金 25,000	
事業収入	440,000	413,936	△26,064	福祉バザー収益金 桜まつりバザー収益金 女性部手づくり収益金 配食個人負担金	
寄付金	10,000	14,895	4,895	旧陣屋レクリエーションクラブ(そば会)	
雑収入	24,000	22,002	△1,998	まちづくり宍戸塾よりコピー機リース代 利子 他	
合 計	1,728,496	1,705,879	△22,617		

支出の部				付 記	
項 目	予算額	決算額	増△減		
会 議 費	15,000	13,518	△1,482	代議員会 両委員会同打ち合わせ会 他	
事 務 費	10,000	9,555	△445	封筒 コピー用紙 ボールペン 他	
事業費	1,540,000	1,392,587	△147,413	青少年育成費(地区懇談会等) 80,068 女性部活動費 99,229 こぶしの会活動費 70,000 広報紙発行費(支部だより3回分) 169,600 児童育成費(笠子連宍戸小支部活動) 50,000 視察研修費(3回実施分) 75,000 体育費(三世代交流事業) 60,000 研修会参加補助費 0 在宅福祉費(配食12回分) 263,864 高齢者補助費(高齢者クラブ) 50,000 区長会活動助成費 50,000 高齢者助成費(グラウンドゴルフ他) 110,760 需用費(電話・ガス・保険料・コピーリース代他) 311,170 備品購入費(救急セット箱) 2,896	
雑 費	35,000	64,800	29,800	会館内コピー機インカートリッジ代×2回分	
連絡調整費	15,000	14,479	△521	各事業実施へ向けての連絡経費	
予 備 費	113,496	60,208	△53,288	ブラインド交換 水道工事代 台所天井雨漏り工事代	
合 計	1,728,496	1,555,147	△173,349		

収入合計1,705,879円ー支出合計1,555,147円＝残金150,732円 次年度へ繰り越し

平成30年度 予算書 H30.4.1～H31.3.31

(単位:円)

収入の部				付 記	
項 目	本年度予算	前年度予算	増△減		
繰越金	150,732	211,496	△60,764	前年度繰越金	
還元金	880,000	880,000	0	会員会費還元金(会員会費助成額)	
助成金	163,000	163,000	0	福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 88,000 宍戸小PTA助成金 25,000	
事業収入	420,000	440,000	△20,000	福祉バザー収益金 桜まつりバザー収益金 女性部手づくり収益金 配食個人負担金	
寄付金	10,000	10,000	0	地域からの寄付金 他	
雑収入	24,000	24,000	0	まちづくり宍戸塾よりコピー機リース代 利子 他	
合 計	1,647,732	1,728,496	△80,764		

支出の部				付 記	
項 目	本年度予算	前年度予算	増△減		
会 議 費	15,000	15,000	0	代議員会 両委員会同打ち合わせ会 他	
事 務 費	10,000	10,000	0	封筒 コピー用紙 ボールペン 他	
事業費	1,520,000	1,540,000	△20,000	青少年育成費(地区懇談会等) 100,000 女性部活動費 100,000 こぶしの会活動費 70,000 広報紙発行費(支部だより3回分) 170,000 児童育成費(笠子連宍戸小支部活動) 50,000 視察研修費(25,000円×3回実施分) 75,000 体育費(宍戸小三世代交流事業) 60,000 研修会参加補助費 5,000 在宅福祉費(配食12回分) 330,000 高齢者補助費(高齢者クラブ) 50,000 区長会活動助成費 50,000 高齢者助成費(ししどサロン他) 150,000 需用費(電話・ガス・保険料・コピーリース代他) 300,000 備品購入費 10,000	
雑 費	35,000	35,000	0	会館内コピー機インカートリッジ代	
連絡調整費	15,000	15,000	0	各事業実施へ向けての連絡経費	
予 備 費	52,732	113,496	△60,764		
合 計	1,647,732	1,728,496	△80,764		

※高齢者助成費(グラウンドゴルフ大会 春・秋開催 ししどサロン経費を含む)

支部委員

支部委員 長谷川良亮 上町

大和田正三 中町

仁平 進 下町

桑島 利光 橋爪1

小松 英泰 橋爪2

江田 兼廣 矢野上郷

大槻 良 矢野上郷

尾田 哲也 ベイ・コナ

山中 英男 南小泉1

角田 恵司 南小泉2

中崎 裕子 南小泉3

星野 登 下加賀田

前嶋 晃司 旧陣屋1

雨谷 高市 旧陣屋2

小野瀬 彰 旧陣屋3

長山 春江 小入町

桑野 晶雄 八反山

田中 善次 星山

谷田部敏男 大田町1

藤増 幸博 大田町2

原田 功 松山団地1

面川 晃 松山団地2

杉山 豊樹 松山団地3

菅原 浩 松山南団地

石川 敏之 松山アパート

赤澤 孝之 八幡下

石井 法明 ひばり公園地

黒澤 一義 本出パーク多シ

青少年健全育成委員会

委員長 雨谷 高市 旧陣屋2

副委員長 森田 和美 旧陣屋2

関 令子 橋爪2

女性部

部長 山本 信子 旧陣屋3

副部長 小菅 栄子 中町

藤木喜代子 大田町2

土屋 時枝 松山団地2

吉井 静子 八反山

大根 法子 矢野下

こぶしの会

委員長 羽生 力 松山南団地

副委員長 山中 一義 南小泉1

広報委員会

委員長 山本 弘子 大田町2

副委員長 小川 福子 旧陣屋1

民生委員・児童委員協議会

民生委員 小菅 栄子 中町

桑島 裕子 橋爪1

武田 富雄 南小泉1

横倉 一男 大古山

幾浦 正道 旧陣屋2

青野 民男 旧陣屋3

仲野よし子 大田町1

藤木喜代子 大田町2

磯部佐智恵 松山団地2

芥川 麗子 松山団地3

岩田 幸雄 八幡下

お知らせ

- 1 社協会員募集の頃となりました。誰もが幸せに暮らせるために、会費の納入にご協力をお願いします。
- 2 子どもから高齢者まで安心安全に暮らせるまちづくりを目指して「地区懇談会」を6月23日から開催します。地域や家庭で困っていることなどありましたらお聞かせ下さい。
- 3 5月26日に行われた福祉バザーで305,251円の収益がありました。ご協力ありがとうございました。

社会参加で健康増進



小人町 菊地芳徳

六戸地区には高齢者クラブが11あります。どの地区の高齢者クラブでも、仲間を作り親睦を図り、年間行事を

作成して高齢者の健康増進に努めています。小人町高齢者クラブの会長を受けたのが、平成19年4月1日からでした。今年で11年目になります。

小人町では、週に1回グラウンドゴルフの練習、1年に3・4回集まり食事を作り会話をしている楽しい時間を過ごしています。その会には規約がありませんでしたので作成しました。また六戸地区高齢者クラブ退任するにあたり、当会計であった私に後任の依頼があり、会長を引き受けてから3年目になります。その間に六戸地区連合会の規約も昨年作成しました。笠間市高齢者クラブ連合会支部では年間、グラウンドゴルフ大会・ベタンク大会・クロッケー大会・輪投げ大会・芸能発表会等々の行事があり、楽しみと健康増進に最高です。また毎年2回行われる六戸地区高齢者グラウンドゴルフ大会では計画から準備迄、全てをしていた

まちの声・むらの声

地域が育てる豊かな心



上町 稲田和幸

だき誠にありがとうございます。支部社協役員の皆様方に大変お世話になっておることを、六戸地区高齢者クラブを代表して心から感謝を申し上げます。(六戸地区高齢者クラブ会長)

今年度の六戸小学校PTA会長を務めさせていただくことになりました。昨年度までの2年間多くの実績を重ねてこられました横手さんの後任ということで荷の重さを感じているところです。笠間市社会福祉協議会六戸支部の皆様には、日ごろより青少年の健全育成にご尽力をいただき誠にありがとうございます。さて、私も卒業した六戸小学校で

No.96

たすねてみたら健康長寿のわけ

須藤みゑさん 97才 大田町2



一日々どの様にお過ごしですか。朝は6時に起き、夜は10時迄には寝ます。畑仕事が好きで野菜づくりをしています。その野菜を使つて君子(嫁)がおいしく料理してくれまふ。また自家製のジャム(ユズ・ブルーベリー・ウメ)をヨーグルトにかけたものやジャコ酢漬とその酢を猪口一杯毎朝いただきます。テレビでみた健康体操等は、毎日続けてやっています。一に残る思い出は。7、8才の頃、年に1回六戸2連隊が演習時、町からの割りあてで兵隊さんが5人泊まりました。その時兵隊さんが背囊から一人5個の牛肉缶詰をお礼として置いていくのです。その牛肉の味がおいしかったことを忘れません。

それから牛肉が大好きになりました。一楽しみは。毎月2回日曜日に20人位が集まつて、お寺で和賛(御詠歌)の練習をしています。グラウンドゴルフは週に2回の練習で、試合は柿橋はやめて、会場が六戸地区の大会に参加しています。前回も2等・3等に入賞しました。まぐれです。(笑)曾孫が3人いますが、特に横浜に居る2人がまだ小さくかわいいので、君子といつしよに電車を乗り継いで会いに行きます。君子が良くしてくれ、こうして元気で自由にして居られることに幸せを感じとても感謝しています。

ですが、社会情勢を反映してか当時とくらべ児童数が少なくなつていいます。全国的に学校の統廃合や小中一貫校の導入などが進められており将来的に六戸小学校もどうなつてしまつたらうと不安を感じているところです。そのような時代の流れの中で、六戸小学校はすぐ恵まれている小学校だと自負しています。先生方ははじめ学校関係者の方、社会福祉協議会六戸支部の方をはじめ六戸に住んでいる方、保護者の方、皆でお互い協力して児童の健全な成長に励んでいます。4月の消防団、消防署との交流会に始まり、5月の田植えや運動会、6月のいも苗植え、秋には収穫体験や三世代交流事業など小学校と地域の結びつきは子どもたちの豊富な経験になり豊かな心を育てています。

特に、六戸小学校の子どもたちは「あいさつ」が良くできると評判です。どこですれ違つても、誰とすれ違つても元気にあいさつをします。声の大きさにびっくりするときもあります。それも、小学校での指導だけではなく毎日立哨活動をしていただいている「あおい安全の会」、「大好きかさまネットワーカー」、「交通安全母の会」、「地域の方」のお力もあつてのことだと思つております。ところで、子どもたちや先生方の教育環境も変わりつつあります。プログラミング教育の導入やユニティ・スクールの推進、教職員の働き方改革など変革の時を迎えようとしています。PTAとしても組織活動の目標を再認識し教育へのたすきわり方など勉強の場として保護者相互の協力のもと意識の高揚に努めてまいります。本気に、元気に、仲よく、過去から現在また未来へと繋がる素晴らしい六戸小学校の子どもたちの為に今後も皆様のご協力をお願いいたします。簡単ではございますが、どうぞ1年間よろしくお願ひいたします。(六戸小PTA会長)

編集委員

山本弘子 小川福子 羽生 力 塩畑敏之 長山春江